

沼田へようこそ

沼田市は自然豊かで歴史のある街である。東京から電車で約 2 時間、群馬県北部の山間部に位置する。

沼田は 3 つの川沿いに形成された河岸段丘に築かれた中世の城下町から発展した。戦略的な位置にあった沼田城は、16 世紀には武家が城の支配権をめぐる争い、何度も城主が入れ替わった。比較的平和な江戸時代（1603-1867）にはその重要性は薄れ、町は農業、林業、そして 19 世紀後半からは養蚕で栄えた。沼田城の跡地である**沼田公園**や、この地域の守護神を祀る山腹の寺である**迦葉山弥勒寺**、20 世紀初頭の沼田の黄金期を物語る歴史的建造物が立ち並ぶ町の中心部にある**大正ロマンエリア**などで、沼田の歴史に触れることができる。

中心部以外では、**玉原高原**、**吹割溪谷**、数多くの**果樹園**などがあり、沼田市の自然の魅力を体験することができる。北部の玉原はたんばらスキーパークのゲレンデがオープンする冬にスノースポーツの人気スポットである。夏には高原のハイキングコースが涼しく、スキー場は紫色の花に覆われ、絵のように美しい**たんばらラベンダーパーク**に変身する。また、多くのハイカーは吹割溪谷を訪れ、滝や渦巻く急流を眺めながら片品川の森に囲まれた岸辺を歩く。溪谷が

特に美しいとされるのは秋で、紅葉が岸辺を赤、オレンジ、黄色に染める。沼田の秋はリンゴの季節でもある。この地域一帯にある何十もの果樹園でリンゴ狩りができ、ジャムやジュースなどの製品を購入することができる。

8月の「**沼田まつり**」や5月の「**大蛇まつり**」の年中行事では沼田市の歴史や民俗、コミュニティ精神が体験できる。18世紀に建てられた農家を改装した「**南郷の曲屋**」では年中、そば打ち、釜戸でのおやき作り、草履づくりなど、農村の暮らしにスポットを当てた体験型アクティビティに参加することができる。